

差別や偏見をなくして 思いやりの小諸市に

図 人権政策課

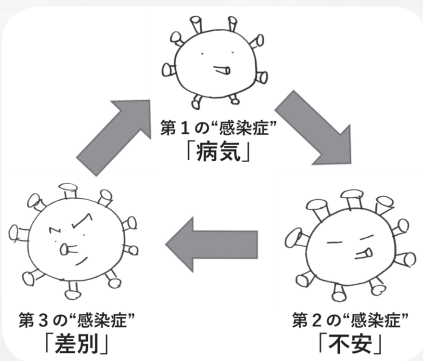
全国で差別や偏見等が発生しています

全国的な感染拡大に伴い、各地で感染者や医療関係者、その家族等に対する差別や偏見、^{ひぼう}誹謗中傷の事例が発生しています。

- 感染者や周りの家族、職場等に対する誹謗・中傷や罵声を浴びせる、石を投げつける等の行為
- 感染者や家族を特定して個人情報勝手に公開
- 医療関係者等に対する差別
- 県外ナンバーの車に対する嫌がらせ・破損

新型コロナウイルスは、「3つの感染症」

日本赤十字社では、「新型コロナウイルスは3つの感染症が繋がっており、1つは【病気そのもの】、2つめは【感染に対する不安や恐れ】、3つめは、不安や恐れから生じる【嫌悪・偏見・差別】である」として、病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別が更なる病気の拡散に繋がると、警告しています。



提供：日本赤十字社

ウイルスに対する不安や恐れは、自分を守ろうとする本能的な思いで、自然な反応です。しかし、それを理由に差別や誹謗中傷などで人を傷つけることは決して許されることではありません。

また、差別を受けるのが怖くて受診しない人が増えると、結果的に病気の拡散に繋がる危険も大きくなります。

誰もが^{かか}罹る可能性があります

新型コロナウイルスは、感染予防を徹底することが大事ですが、それでも、感染してしまうことがあります。

「もし、あなたや大切な人が感染してしまったら」と考えてみませんか。そのことであなたや大切な人、さらには勤務先や治療にあたってくれた医療従事者等が差別され、偏見にさらされてしまったら、たまらないのではないのでしょうか。

一人ひとりがそれぞれの立場で出来ることを行い、コロナに負けない思いやりの小諸市をつくりましょう。



感染してもしなくても、誰もが笑顔で暮らせる小諸市に...